



AZUKO

Hokkaido Atsuma High School

令和9年度入学案内

厚真と共に、
厚真高校

北海道厚真高等学校
Hokkaido Atsuma High School

生徒一人ひとりを
大切にする高校
それが厚真高校

 北海道厚真高等学校

〒059-1605 北海道勇払郡厚真町字本郷 234-3
TEL.0145-27-2069 FAX.0145-27-2091

<http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp>



「小さくて あったかい 厚真高校」

～生徒一人ひとりを大切にする学校～

北海道厚真高等学校長 佐藤 公人



厚真高校は、胆振管内東部の厚真町にあり、創立から72年を迎えました。本校の所在する厚真町は、昔から「あづま」と呼ぶ町民も多く、パンフレット表題の「AZUKO」が本校の愛称になっています。

本校は昭和28年(1953年)に創立され、地域とともに歩みを続ける全日制普通科の高校です。厚真町の豊かな自然に恵まれ、落ちついた教育環境の中で、生徒一人ひとりの個性や能力、特性などを大切にする「小さくて あったかい」学校です。生徒同士や生徒と教員の距離感が近く、日頃からのコミュニケーションを基にお互いを理解し合いながら、伸び伸びとした学校生活を送ることができます。また、厚真町地域と連携したさまざまな取組(就業体験(インターンシップ)や町の行事への参加、ボランティア活動、「よりみち学舎」(公営塾)での活動など)により、生徒は豊かな経験を積むことができます。さらに、近年では、部活動や個人種目で活躍する生徒も多く、全道大会や全国大会に出場する選手を輩出しています。

地元の厚真町からは、「厚真高校魅力化プロジェクト」の推進とともに、通学費や各種検定料補助、学校給食の提供など、さまざまな形で厚いご支援、ご協力をいただいております。学校教育の大きな助けとなっています。

厚真高校は、厚真町地域とともに、「入学して良かった」という皆様の信頼や期待に応えるために、今後も、本校の「小さくて あったかい」利点を活かした教育活動を進めてまいります。是非、入学をご検討ください。

教育目標

よき市民、よき社会人を育てる

厚真高校が目指す「5つの力」

- 基礎的・基本的な知識・技能
- 課題解決力 主体的に考え・行動することで、課題を把握し、改善・解決する力
- 人間関係構築力 自分を知り、相手の気持ちを推察することにより、良好な人間関係を築く力
- 協働力 互いの良さを認めながら、共に取り組む力
- キャリア形成力 生き方や進路について考え、自らを律し行動する力

年間行事



入学式



キャリア教育講演会



学校祭



強歩大会



見学旅行



スキー体験学習

- 4 ●新入生事前登校
●始業式 ●新入生歓迎会 ●交通安全教室
- 5 ●高体連走行会 ●PTA総会 ●生徒総会
●SNS・ネット安全講話 ●田植え体験
●生徒会交流 ●前期中間考査
- 6 ●企業説明会 ●避難訓練 ●卒業生進路講話
●田舎まつり参加 ●全校教育相談①
- 7 ●学校祭 ●進路講習
- 8 ●夏季休業 ●夏季確認テスト
- 9 ●前期末考査 ●生徒会役員選挙
●稲刈り体験 ●漁業体験 ●強歩大会 ●セーフティコール
- 10 ●後期開始 ●中学生体験入学
●職業体験 ●林業体験 ●屋外体育大会
●防災教室 ●苫東視察見学会
- 11 ●全校教育相談② ●職場体験学習
●防犯・薬物乱用防止教室 ●後期中間考査
●ドライバーズセミナー ●総探成果発表会
- 12 ●生徒会交流 ●2学年見学旅行
●進路講習 ●職場体験学習発表会 ●合格体験発表会 ●授業公開週間
●3年生を送る会 ●屋内体育大会 ●冬季休業
- 1 ●冬季休業
●冬季確認テスト ●学年末考査(3年生)
- 2 ●スキー体験学習 ●学年末考査(1・2年生)
●生徒会交流 ●高校生就職ガイダンス
- 3 ●専門学校出前授業
●卒業式 ●修了式

厚真高校の笑顔になる教育活動

一人ひとりが分かる学習活動

学習の基礎・基本を大切に

厚真高校は1学年1クラスの学校ですが、この「小ささ」が学校の長所になっています。先生方一人一人がすべての学年に入って授業を行い、基礎・基本を中心に、生徒一人一人を大切にする学習活動を行っています。また、毎年すべての先生方がすべての生徒と教育相談を行い、学習や進路、生活などについて話し合う機会をもつなど、いいサポートが受けられる学校です。



充実したキャリア教育

将来の社会的自立に向けて



「キャリア教育」を重視する本校では、高校卒業後、一人一人が自立し活躍するために必要とされる知識や能力、態度を身につけるために、さまざまな体験的活動や行事を行っています。全員が参加する職場見学や専門学校出前授業、企業説明会、企業訪問、職場見学、交通安全教室、地域貢献活動など、地域の方々や企業関係者、学校関係者と連携しながら特色ある取組を行っています。

インターンシップ

令和元年(2019年)度より1学年・2学年生徒での「職業体験学習(インターンシップ)」を実施しています。複数学年での全生徒インターンシップは他校にはあまり見られない取組です。1学年では第一次産業(農林業)、2学年では第二次産業(製造・建設業等)・第三次産業(サービス・公務・商業等)の事業所で、実際に働く経験を積んでいます。実際に働くことで、将来の職業観・勤労観を早いうちから養成し、職業に就いた時のために備えています。



地域連携校

交流の様子



平成20年度より指定を受け、各協力校との交流を深めています。ビデオ会議アプリを活用し他の連携協力校(虻田高・穂別高・苫前商業高・音更高)とリアルタイムでの生徒会交流を行っています。

部活動では、バドミントン部が苫小牧東高と合同合宿を行っています。

基礎・基本を大切にした英語授業

ALTと基礎から進学対策まで

厚真町教育委員会と胆振教育局の両方からALTが派遣され、月1~2回ALTの授業があります。入学してしばらくの間は中学校で習った英語を復習し、英語に苦手意識を持つ生徒にもスムーズに高校英語を学習できるように配慮しています。3年生では、進学者用の選択科目を設け、大学受験や英検に向けた学習もできます。



遠隔授業



生徒の多様な興味・関心に応えるために、北海道高等学校遠隔授業配信センターから「書道」の授業を受信し、オンラインで「遠隔授業」を行っています。端末を用いて課題に取り組み、課題や作品の提出を行います。また、ビデオ会議アプリにより筆の持ち方や書き方なども個に応じた丁寧な指導を受けることができます。

地域連携活動

ボランティア部

生徒達のボランティア活動は、豊かな人間性や社会性を身につける良い機会となっています。ボランティア部を中心に、放課後子ども教室の支援、高齢者施設での交流、清掃活動など積極的に取り組んでいます。



家庭クラブ

学校家庭クラブ活動では、家庭科の授業で学んだことを生かして、家庭や地域生活の改善・向上を目標に調査研究、実践活動を行います。研究成果は地域イベント、全道大会等で発表し広く発信します。

最近では「ハスカップ」、「鹿肉」、「手話・点字」などをテーマに活動しています。



各種検定・資格の取得へ向けて

資格を自分のために



卒業後の進路に向けて、1年に1回以上受検する取組で生徒の資格取得に力を入れています。本校は、情報および商業の科目を設置しており、授業と連動しながら情報処理検定、ワープロ検定、簿記能力検定、電卓能力検定などを受検することができます。その他、漢字・英語検定や食品衛生責任者資格の取得などにも力を入れています。厚真町の支援により、検定料の3/4を助成してもらうことができます。

学校給食

令和元年(2019年)度から、厚真町学校給食センターから1食300円で給食の提供を受けています。厚真町の学校給食は、地産地消をテーマにした「地場産食材」を盛り込んだ、評判の給食です。本校は昼食も「あったかい」学校です。



厚真町公営塾「よりみち学舎」



令和4年(2022年)4月より、厚真町の教育魅力化支援事業の一環として公営塾「よりみち学舎」が開設されました。公営塾は、厚真高校と地域との連携を行いながら厚真高校に通う生徒が自ら目標を発見し挑戦する場となっています。学校との連携では生徒一人ひとりに合わせた学習プログラムを組むことで、個別の学習、進路実現へのサポートを行います。将来の夢や目標の発見につながるプログラムや体験活動を組んでおり、キャリア教育にも対応しています。地域との連携では、町内に住む方々との交流や対話を通じて多様な価値観を見出していきます。学習面のみならず自身の生き方や在り方を自発的に考えるきっかけ作りを目指しています。厚真町観光協会と協働して、胆振東部地震の記憶を語り継ぐ高校生震災ガイドプロジェクト「さざんか」も活動中です。

厚真高校の5つの部活動

- バドミントン部 例年6つの大会へ出場。大半が高校からの初心者です。
- 美術部 高文連芸小牧支部美術展へ出展。
- 写真部 高文連全道写真展へ出展、多岐にわたる活動。
- ボランティア部 放課後子ども教室参加や被災文献の修復等多岐にわたる活動。
- 陸上競技部 町内の指導者と連携し日々の練習を行い、各種大会に出場。

地域と連携した陸上競技部

陸上競技部は、学校と地域の連携をモチーフに厚真町と連携し、生徒の練習環境の整備と指導の一体化を行っています。実践も経験もある指導者の下、生徒一人ひとりの個性を尊重し、よりよい環境で、より質の高い練習を行っています。

- 2025年実績
男子砲丸投 全国優勝 大垣尊良
- 2026年実績
男子砲丸投・円盤投・やり投 インターハイ出場
女子砲丸投・円盤投 インターハイ出場



町内の水田での田植え体験



総合的な探究の時間 成果発表



男子200M 平泳ぎ IH出場

現役生の声



私にとって厚真高校の一番の魅力は「アットホームさ」です。

私は札幌から厚真高校に入学して、数々のことに取り組んで来ました。1つ目は、生徒会長として厚真高校をより良い学校にしたいと考え現在取り組んでいる「厚高生補充計画」です。この活動は厚真高校の入学人数を増やすために、地域の方々に厚高生が学校行事や課外活動に取り組む姿を見ていただき、厚真高校をより身近で魅力的な学校であることをアピールするために



生徒会 会長
3年生 小宅 和哉

始めました。2つ目は、身近な人とのコミュニケーションを積極的に取ることです。私は厚真町にきた当初、知り合いも少なく人間関係をゼロから築く必要がありました。だからこそ一人一人とコミュニケーションを取り、より良い関係を築いていくことを意識しました。

私はこれまでの様々な活動を、先生方や厚真高校の公営塾スタッフの方と共に進めてきました。厚真高校は生徒と先生方、地域の方々との距離が近い学校だと思います。厚真高校のアピールポイントは数多くありますが、私にとっての一番の魅力は「アットホームさ」です。大規模な学校とは違い、全校生徒の顔が分かり、先生方との距離も近く、私の活動も多くの方のサポートを受けて進めることができました。私が厚真高校を卒業するまで、あと少ししかありませんが、3年間を共にしたクラスメイト、信頼のおける先生方と一緒に卒業の瞬間まで楽しんで生活していきたいと思っています。

厚真高校には、新しいことに挑戦したいという気持ちを応援してくれる先生や仲間がいます。

私は厚真高校に入学してから、多くのことに挑戦し、自分自身が大きく成長できたと感じています。特に生徒会活動では、副生徒会長として学校祭やさまざまな行事の企画・運営に携わり、仲間と協力して一つの目標を達成する楽しさや責任感を学びました。最初は人前に立つことや意見をまとめることに不安もありましたが、先生方や仲間を支えられながら経験を積み、自分から行動する力や最

後までやり抜く力が身につきました。

厚真高校は少人数だからこそ先生との距離が近く、勉強や進路だけでなく学校生活のことも気軽に相談できます。また、学年を越えた交流も多く、先輩・後輩とのつながりが自然と生まれる温かい雰囲気があります。学校祭や体育大会などの行事では全校生徒が丸となって取り組み、一人ひとりが活躍できる場面がたくさんあります。

高校生活は自分次第で大きく成長できる3年間です。厚真高校には、新しいことに挑戦したいという気持ちを応援してくれる先生や仲間がいます。ぜひ皆さんも厚真高校で、自分らしく充実した高校生活を送ってください。



生徒会 副会長
3年生 稲川 翔聖



OB・OGの声

挑戦できることが魅力。世界に広がる部品の製造に携わっています。

私が勤務しているトヨタ自動車北海道株式会社は、主に自動車のトランスミッションや駆動系部品の製造を行っています。本社で製造した部品は国内外の車両工場に出荷され、世界中のトヨタ車に搭載されています。私は現在、ダイキャスト製造工程でトランスミッションの外枠の製造に携わっています。主な業務内容はラインオペレーターとしてダイキャストマシンの操作・点検・製造部門の検査をすることです。仕事をしている上で、慢性的に発生している品質異常やロボット異常の原因追及を行い、対策

実施して異常を撲滅できたときにやりがいを感じます。現在の目標はラインオペレーターとして知識を深め、習熟度を上げ、職場内の目標としている人に近づくことです。

厚真高校時代は、外部活動として行っていた空手を頑張っていました。高校卒業後、トヨタ自動車北海道に入社した理由は、空手の先生が働いており、話を聞いて興味を持ったからです。厚真高校は先生と生徒との距離が近く、とても親しみやすい学校です。さらには、資格取得の補助もあり、様々なことに挑戦できるのが魅力だと思います。



トヨタ自動車北海道株式会社
令和2年3月卒 山本 拓磨

専門学校を卒業後、地元厚真に就職。やっぱり厚真が好き。



厚真町役場
令和3年3月卒 高田 華凜

私は厚真町出身で地元である厚真高校に進学しました。厚真高校に入学して驚いたことは、助成が非常に厚いということです。漢字検定やワープロ、情報処理検定、食品衛生責任者養成講習など様々な検定や資格を習得することができ、検定料の3/4が助成されます。そのため私は積極的にたくさんの検定を受けました。皆さんも入学した際は検定を沢山受けてください。将来役立つことが多いです。また通学費補助の面では町外から通う方々に対して交通費の4/5を補助しています。「ちいさくてあった

かい学校」であるので、人数の多い学校に比べて生徒1人ひとりの意見や声は反映されやすいです。また先生方も生徒の事をちゃんと見てくれています。人数が少ない学校だからこそやりたいことを沢山でき、実現させることもできます。卒業後、専門学校に進学し、今は厚真町役場で働いています。高校生活を振り返ってみると、辛いことや悲しいこともありましたが、楽しいこともたくさんあり、どれも大切な思い出です。厚真高校で3年間沢山遊んで笑って楽しい思い出を作ってもらいたいです。

受益者さんに喜ばれるのがやりがい。高校で人として大切な行動を学びました。

土地改良区は、農地に水を供給するための施設の管理、農地の整備事業、土地改良事業に関わる施設の維持管理などを行っている団体です。もともと改良区で働いている地元の方に誘われたのがきっかけで、自分も胆振東部地震で被害にあった農地を元に戻したいという思いもあり、入職しました。現在は用水路や排水路、導水管などの調整・操作、調査・測量、図面作成などを担当しています。維持管理は

天候などの影響も受け、水の調整が難しく、時間がかかることも多いのですが、受益者さんから「工事をやってよかった」と言っていただくとやりがいを感じます。また図面作成ソフトを使って、自分なりの考えで図面を描いて設計できるのが楽しいですね。厚真高校では、時間を守る、挨拶をする、お礼を言うなど、人として大切な行動を身につけられ、それが仕事でとても役立っています。



厚真町土地改良区
令和2年3月卒 高橋 尚輝

好きを仕事に。自動車のエンジニアとして活躍しています。



日本工学院北海道専門学校
令和3年3月卒 安孫 愁斗

私は子供の頃から車が好きで、叔父が自動車整備士になったのがきっかけで自分も整備士という職業に興味を持ち始めました。自動車整備士になるためには資格が必要です。資格を取得するには、一年の実務経験を経てから三級自動車整備士の受験資格を得て試験を受ける流れになります。二級自動車整備士になるにはそこから三年の実務経験が必要となります。ですが専門学校に入学し二年間経験と知識を身

につけて卒業し資格試験を受けることで、卒業後すぐに二級自動車整備士になることができます。私は叔父と同じように日本工学院北海道専門学校自動車整備科を卒業し、現在はネットトヨタ苫小牧のエンジニアとして働いています。高校時代は委員会やバドミントン部に所属していたりと充実した高校生活を送ることができました。厚真高校では教育振興会から資格取得の補助をしていただけるため、様々な資格を取ることができるのが魅力だと思います。

進路状況（過去3年間）

令和7年度卒業生

	進 学			就 職				その他	合 計
	大学	短大	専門学校	町内	管内	道内	道外		
男	1	0	2	0	9	0	0	0	12
女	1	0	2	1	6	1	0	0	11
計	2	0	4	1	15	1	0	0	23

令和6年度卒業生

	進 学			就 職				その他	合 計
	大学	短大	専門学校	町内	管内	道内	道外		
男	1	0	3	2	4	2	0	0	12
女	0	0	1	0	5	3	0	0	9
計	1	0	4	2	9	5	0	0	21

令和5年度卒業生

	進 学			就 職				その他	合 計
	大学	短大	専門学校	町内	管内	道内	道外		
男	1	0	2	3	9	2	0	0	17
女	0	0	1	0	2	1	0	0	4
計	1	0	3	3	11	3	0	0	21

過去3年間の主な大学・短大、専門学校 進学先

札幌市立大学	北海道工コ・動物自然専門学校
札幌学院大学	苫小牧看護専門学校
北海道千歳リハビリテーション大学	日本工学院北海道専門学校
北海道情報大学	北海道情報専門学校

過去3年間の主な就職先

厚真町役場	トヨタ自動車北海道株式会社
胆振東部消防組合	株式会社ダイナックス
日本ホワイトファーム株式会社	とまこまい広域農業共同組合
自衛隊 一般曹候補生	株式会社マザーズ
苫小牧埠頭株式会社	社会医療法人 平成医塾
日本製紙株式会社白老工場勇弘	北海道日野自動車株式会社

地域一丸となって皆さんの学習活動を応援します！

厚真高校教育振興会の 支援内容

北海道厚真高等学校教育振興会は、厚真高校の地域に根ざした特色ある教育活動の支援を目的に設立された組織で、通学や各種資格取得に要する経済的負担の軽減や学校活動などへの支援、キャリア形成に要する経費の支援など、厚高の教育活動や生徒・保護者の皆さんを側面から応援します。

沼ノ端線が運行

沼ノ端駅前から乗り換えをしないでバス通学ができます

平成29年1月からあつまバスが運行している路線に沼ノ端線が新設され、沼ノ端駅前から厚真高校前まで乗り換えをしないで通学できるようになりました。

通学費の助成

通学費の5分の4を助成

公共交通機関を利用する通学生の通学費用を助成します。

●JR 苫小牧駅から通学する場合

※JR 定期代（苫小牧駅～沼ノ端駅）……………1ヶ月 6,940円
※あつまバス定期代（沼ノ端駅前～厚真高校前）……………1ヶ月 25,680円
定期代の合計 32,620円のところ、26,096円の助成により実質負担額 6,184円に！

●JR 沼ノ端駅から通学する場合

あつまバス定期代（沼ノ端駅前～厚真高校前）……………1ヶ月 25,680円
定期代の合計 25,680円のところ、20,544円の助成により実質負担額 6,184円に！

●JR 早来駅前から通学する場合

あつまバス定期代（早来駅前～厚真高校前）……………1ヶ月 15,480円
定期代の合計 15,480円のところ、12,384円の助成により実質負担額 3,096円に！

●上厚真から通学する場合

あつまバス定期代（上厚真～厚真高校前） 1ヶ月 21,240円
定期代の合計 21,240円のところ、16,992円の助成により実質負担額 4,248円に！
※あつまバスは片道定期もあり、助成の対象です。
※あつまバスの定期は、あつまバス本社窓口で定期代の5分の1の額で購入することができます。

町内通学生への支援

実費相当額を支援

町内の通学生（公共交通機関利用者を除く・片道が2km以上が対象）は、通学に要する実費相当額を支援します。

資格取得への助成

各種資格取得に要する検定量の4分の3を助成

厚真高校生徒は、様々な資格や検定に取り組んでいます。実用英語技能検定、情報処理技能検定、ワープロ検定、危険物取扱者、漢字能力検定等に生徒が果敢にチャレンジしています。

履歴書に記載できる資格取得を目指してこの支援を活用してください。なお、回数制限はなく、合否は問いません。

学習支援

- リクルートのスタディサプリ高校講座の視聴
- タブレット端末が1人1台利用可能
- 希望者は町内で実施されるイングリッシュキャンプに参加可能

その他の支援

- 大学や企業見学の際のバス借上げに対する支援
- スキー体験学習でのインストラクター招聘に対する支援
- 地域行事（田舎まつり）への参加に対する支援
- 下宿費用の1/2を助成（上限あり）
- その他特色ある教育活動等への支援

厚真の豊かな自然の中で 楽しい高校生活を 送いませんか！

厚真町は、山あり、海あり、湖沼ありの自然豊かなマチです。丘陵地帯には水由や畑が広がり、収穫時にはマチが黄金色に色づきます。四季の移ろいを実感できる自然豊かな中で、厚真町はおちついて高校生活を送ることができるマチです。

①こぶしの湯あつま

厚真高校の近くには日帰り入浴のできる公共の浴「こぶしの湯」があります。あつまスタードームなどを利用してたくさんの高校生や大学生が合宿をしている施設です。



②あつまスタードーム

厚真高校の隣にある「あつまスタードーム」は、道内でもベストスクールを誇る「全天候型多目的土間体育館」。一年中、テニス、サッカー、野球を楽しむことができます。



③サーフィン・ボディボード

厚真海岸は道内でも有数のサーフィンのメッカとして知られています。冬期間以外は通年で道内のサーファーが太平洋の大波を楽しんでいます。



厚真の特産品

厚真産ハスカップ

厚真町はハスカップの作付面積が日本一。「厚真産ハスカップ」は地域ブランドとして市場でも高い評価を受けており、美容や健康に良い効果が期待できると近年の研究でわかっています。



厚真のイベント

スターフェスタ

（冬の花火大会・干支文字焼き）

2月にこぶしの湯付近で行われる「スターフェスタ」は、雪景色を背景に花火と干支文字焼きの競演。厚真町ではほかに6月に田舎まつり、1月に雪上3本引き大会などイベントが盛りだくさんです。



厚真の公式キャラクター

あつまくん

厚真の公式キャラクターあつまくん。厚真の特産品のコメ、ハスカップ、道内屈指のサーフポイントにちなみサーフボードを背負っています。

